

# 福島第一原子力発電所の状況

2015年9月18日  
東京電力株式会社

## <1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (9/18 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m <sup>3</sup> /h	27.1 °C	0.4 kPa g	A系： 0.02 vol%
		炉心スプレイ系：約1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m <sup>3</sup> /h	33.1 °C	5.16 kPa g	A系： 0.02 vol%
		炉心スプレイ系：約2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m <sup>3</sup> /h	31.6 °C	0.25 kPa g	A系： 0.04 vol%
		炉心スプレイ系：約2.2 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.05 vol%

## <2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (9/18 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	26.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	26.4 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	22.5 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	21.8 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

## <3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	タービン建屋 原子炉建屋 廃棄物処理建屋	→	集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋	9/17 13:57～ 移送実施中

## <4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (9/18 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 \*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## <5. その他>

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
- 2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- 2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- 2015/9/10～ 海側遮水壁について、鋼管矢板の打設作業を再開。
- 2015/9/18 9/17 のチリ中部沖地震により、9/18 3:00 に気象庁から福島県沿岸部に「津波注意報」が発令。  
3:05 に発電所構内で作業している当社社員および協力企業作業員に対し、発電所構内一斉放送にて高台への避難指示を出し、4:05 に避難が完了。なお、発電所港湾内に設置している潮位計の監視において、7:30～7:40にかけて潮位約12cmの変化を確認したが、プラントパラメーターおよびモニタリングポストの指示値に有意な変動は確認されていない。

- ・2015/9/18 H6タンクエリア内堰からの漏えいについて、採取した水のSr-90の分析結果等は以下の通り。

<H6タンクエリア内堰内水>ストロンチウム 90:160 Bq/L

H6タンクエリア内堰内の水については、同エリアに設置している汚染水タンク等からの漏えいは確認されていないものの、9/11 に発生したH4北タンクエリアからの漏えい事象の際に、H4北タンクエリア内堰内の水※1 がH6タンクエリアに移送されていることから、漏えいした水は「核燃料物質等により汚染された水」に該当すると判断。※2

このため、本事象については、9/11 に発生した炉規制法報告事象の一連の事象として、H4北タンクエリアからの漏えい事象と併せて、原因と対策について検討する。

※1:2013/8/19 の「福島第一原子力発電所汚染水貯留設備RO濃縮水貯槽からの漏えい」事象発生後に、H4北タンクエリア内の床面洗浄・塗装は実施しているものの、タンク底部の床面には汚染が残存している。

※2:H6タンクエリア内堰内から採取した水の放射性物質の濃度(告示濃度限度に対する割合の和)は「5.3」であり、実施計画にて定めた排水基準(0.22)を超えている。なお、9/9 に発生したH5タンクエリア及びCタンクエリア内堰からの漏えい事象についても、原因と対策を検討する。

#### 【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。

5/15 6:45~5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。

7/17 7:06~7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。

7/28~ 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。

#### 【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】

【2号機】・2015/6/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約 4,500m<sup>3</sup>の除去完了。 7/10 充填完了。

【3号機】・2015/7/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約 5,500m<sup>3</sup>の除去完了。 8/27 充填完了。

【4号機】・2015/4/15~ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

#### 【サブドレン他水処理施設の状況】

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

9/17~ サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。

- ・一時貯水タンクFの当社および第三者機関による分析結果[採取日 8/20]については同等の値であり、運用目標値を満足していたことから、9/18 10:01~15:32 に海洋への排水を実施。排水量は799m<sup>3</sup>。

#### 【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1~12 のサンプリングを継続実施中。

#### 【1~3号機放水路の状況】

※1~3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・1号機放水路立坑水下流側の Cs-134、Cs-137 および全ベータの値が引き続き上昇傾向にあることを確認。また1号機放水路立坑水上流側のトリチウム値についても前回値よりも上昇していることを確認。

本立坑の各測定値はこれまでも緩やかな上昇傾向にあり、今回の値が特異的に上昇したものではないと推定。引き続き監視を継続。

その他の分析結果については前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】**

＜地下水観測孔サンプリング実績＞

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

＜海水サンプリング実績＞

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】**

＜地下貯水槽サンプリング実績＞

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上